



2020年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月12日
東

上場会社名 市光工業株式会社 上場取引所
 コード番号 7244 URL <http://www.ichikoh.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) サワー ハイコー
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 高森 正樹 (TEL) 0463-96-1442
 定時株主総会開催予定日 2021年3月25日 配当支払開始予定日 2021年3月26日
 有価証券報告書提出予定日 2021年3月26日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期の連結業績(2020年1月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期	113,859	△14.4	2,468	△61.7	5,048	△31.4	2,857	△45.2
2019年12月期	133,053	△5.4	6,440	△28.5	7,363	△24.0	5,214	△46.5

(注) 包括利益 2020年12月期 △428百万円(-%) 2019年12月期 6,152百万円(△15.2%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年12月期	29.73	-	6.5	4.6	2.2
2019年12月期	54.26	-	12.6	6.9	4.8

(参考) 持分法投資損益 2020年12月期 445百万円 2019年12月期 825百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期	109,634	44,544	39.7	453.15
2019年12月期	109,813	45,405	40.3	460.23

(参考) 自己資本 2020年12月期 43,559百万円 2019年12月期 44,240百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年12月期	11,219	△10,955	△2,917	5,426
2019年12月期	16,122	△16,724	△1,409	8,196

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年12期	-	3.50	-	3.50	7.00	672	12.9	1.6
2020年12期	-	1.00	-	2.50	3.50	336	11.8	0.8
2021年12月期(予想)	-	3.50	-	3.50	7.00		16.0	

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日~2021年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	64,000	23.8	2,800	-	3,000	-	1,900	-	19.77
通期	130,000	14.2	6,200	151.2	6,600	30.7	4,200	47.0	43.69

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
 新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
 ② ①以外の会計方針の変更： 無
 ③ 会計上の見積りの変更： 無
 ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期	96,292,401株	2019年12月期	96,292,401株
② 期末自己株式数	2020年12月期	165,198株	2019年12月期	164,996株
③ 期中平均株式数	2020年12月期	96,127,269株	2019年12月期	96,112,044株

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年12月期の個別業績（2020年1月1日～2020年12月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期	89,288	△12.7	3,032	△40.6	5,323	△1.7	3,189	△9.5
2019年12月期	102,250	△6.8	5,108	△22.4	5,413	△28.7	3,522	△57.8
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2020年12月期	33.18		—					
2019年12月期	36.65		—					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2020年12月期	90,102		37,930		42.1	394.59		
2019年12月期	88,360		36,980		41.9	384.71		

(参考) 自己資本 2020年12月期 37,930百万円 2019年12月期 36,980百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(セグメント情報等)	14
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、新型コロナウイルス流行に伴う緊急事態宣言の発令などの影響から大きく低迷したものの、年度後半からは徐々に回復の傾向がみられるようになりました。世界経済においても、中国は比較的早期に生産や投資の回復傾向がみられ、米国やアセアンなどは、移動制限や都市封鎖などの影響から景気は予断を許さない状況となりましたが、年度後半からは地域的跛行性はあるものの改善がみられるようになりました。

当社グループが属する自動車業界におきましては、日本国内の自動車生産台数は、年度前半は特に第2四半期の落ち込みにより大幅なマイナスとなりましたが、年度後半では減少幅は縮小し、第4四半期では前年比でプラスに転じました。アセアンにおいても、3か国（タイ、インドネシア、マレーシア）合計の自動車生産台数は、ロックダウンなどの影響から年度前半は大きく落ち込みましたが年度後半で回復傾向となりました。インドネシアは減少幅は縮小傾向ながら第4四半期も前年比減少となったものの、マレーシアは第3四半期から、タイは第4四半期から、前年比増加に転じました。また、中国の自動車生産台数は第2四半期以降は前年比増加を継続しました。

このような環境の下、当連結会計年度においては、主力の国内では、売上高は自動車生産マーケットより小幅な減少率にとどまり、特に第4四半期の3か月では前年比で増加に転じました。アセアンでの売上高は、インドネシアでの減少をタイでの新車生産効果等で補い、減少率はマーケット水準より小幅に留まる結果となりました。

これらの結果、当連結会計年度では、売上高は113,859百万円(前年同期比14.4%減)、営業利益は経費の変動費化や国内外での早期退職実施等、徹底したコスト削減を図った結果、2,468百万円(前年同期比61.7%減)となり、経常利益は投資有価証券売却益2,090百万円を計上したことなどから5,048百万円(前年同期比31.4%減)となりました。また、特別損失として事業構造改善費用や減損損失を計上したことなどにより、親会社株主に帰属する当期純利益は2,857百万円(前年同期比45.2%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 自動車部品事業

主力の国内では、売上高は自動車生産マーケットより小幅な減少率にとどまり、特に第4四半期の3か月では前年比で増加に転じました。アセアンでの売上高は、インドネシアでの減少をタイでの新車生産効果等で補い、減少率はマーケット水準より小幅に留まる結果となりました。

これらの結果、売上高は106,130百万円(前年同期比14.7%減)、営業利益は2,282百万円(前年同期比63.8%減)となりました。

② 用品事業

用品事業におきましては、新型コロナウイルスの影響からアフターマーケットの売上が減少したことなどから売上高は8,056百万円(前年同期比7.3%減)となりましたが、経費削減や昨年度の一過性経費の剥落などにより営業利益は230百万円(前年同期比10.1%増)となりました。

③ その他事業

その他事業は、売上高は1,817百万円(前年同期比6.3%増)、営業損失は71百万円(前年同期は営業損失82百万円)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は109,634百万円となり、前連結会計年度末対比で178百万円の減少となりほぼ横ばいで推移しました。

流動資産は、短期貸付金の増加が3,256百万円があった一方で、現金及び預金が2,769百万円減少したことなどより前連結会計年度比で678百万円の増加となりました。なお、短期貸付金の増加はヴァレオ社及びその関連会社への貸付金の増加であります。当該貸付については、市場金利を勘案して利率を決定しています。

固定資産については、設備投資により有形固定資産が全体で3,223百万円の増加となりましたが、投資有価証券の売却を主因として、投資その他の資産が全体で3,874百万円の減少となり、固定資産全体では前連結会計年度比で857百万円の減少となりました。

負債は65,090百万円となり、同682百万円の増加となりました。

流動負債は、未払金が1,962百万円、未払法人税等が1,007百万円それぞれ増加したことなどにより、流動負債全体で2,958百万円の増加となりました。

固定負債は、長期借入金が2,045百万円減少したことを主因として、固定負債全体で2,275百万円の減少となりました。

純資産は44,544百万円となり、同861百万円の減少となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益の計上等により株主資本が2,424百万円増加したものの、投資有価証券の売却によりその他有価証券評価差額金が1,829百万円減少したことや、退職給付に係る調整累計額が1,130百万円が減少したことなどにより、その他包括利益累計額が全体で3,105百万円減少したことによるものであります。なお、自己資本比率は39.7%となりました。

(百万円)

	2019年12月期 (前連結会計年度)	2020年12月期 (当連結会計年度)	増減
資産の部			
流動資産	46,255	46,934	678
固定資産			
有形固定資産	42,760	45,983	3,223
無形固定資産	1,287	1,080	△206
投資その他の資産	19,510	15,636	△3,874
固定資産合計	63,558	62,700	△857
資産合計	109,813	109,634	△178
負債及び純資産の部			
流動負債	45,821	48,779	2,958
固定負債	18,586	16,310	△2,275
負債合計	64,407	65,090	682
純資産	45,405	44,544	△861
負債純資産合計	109,813	109,634	△178

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、5,426百万円、前連結会計年度末比2,769百万円の減少となりました。

営業活動の結果獲得した資金は11,219百万円となりました。主な増加要因は、税金等調整前当期純利益4,005百万円、減価償却費7,433百万円、その他流動負債増加3,135百万円等であり、主な減少要因は投資有価証券売却益2,099百万円、売上債権の増加額1,288百万円、持分法による投資利益445百万円等であります。

投資活動の結果使用した資金は10,955百万円となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出11,800百万円、短期貸付金の実行による支出3,239百万円がある一方で、投資有価証券の売却による収入4,248百万円があること等によるものであります。

財務活動の結果返済した資金は2,917百万円となりました。主な要因は、長期借入金の返済による支出1,129百万円、リース債務の返済による支出394百万円、短期借入金の純増減による支出960百万円等があること等によるものであります。

(百万円)

	2019年12月期 (前連結会計年度)	2020年12月期 (当連結会計年度)	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,122	11,219	△4,902
投資活動によるキャッシュ・フロー	△16,724	△10,955	5,769
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,409	△2,917	△1,507
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6	△117	△110
現金及び現金同等物の増減額	△2,018	△2,769	△751
現金及び現金同等物の期首残高	10,215	8,196	△2,018
現金及び現金同等物の期末残高	8,196	5,426	△2,769

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年3月期	2017年12月期	2018年12月期	2019年12月期	2020年12月期
自己資本比率(%)	28.6	30.9	37.9	40.3	39.7
時価ベースの自己資本比率(%)	54.6	93.4	52.0	66.4	60.5
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(%)	196.9	283.1	59.0	76.5	88.4
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	29.4	19.8	65.8	100.3	134.1

自己資本比率:自己資本/総資産

時価ベースの自己資本比率:株式時価総額/総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率:有利子負債/キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ:キャッシュ・フロー/利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注3) キャッシュ・フローは営業キャッシュ・フローを利用しております。

(注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち、利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

2021年12月期の業績予想につきましては、世界的なコロナウイルスの蔓延や半導体需給の逼迫によるサプライチェーンへの影響など、自動車生産の市場動向は予断を許さない状況が続いておりますが、アセアンについては生産の回復も含めた増収を見込んでおり、国内も足元の回復傾向を踏まえてランプ類を中心に増収を予想しております。また、近年のコスト削減効果、生産性向上効果もあり、売上高は130,000百万円、営業利益は6,200百万円、経常利益は6,600百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は4,200百万円を予想しております。

配当につきましては、当社は、(1)内部留保を活用した研究開発および設備投資により企業価値の向上を図ること、および、(2)株主の皆さまに対する利益還元の向上を図ってゆくこと、これら(1)(2)の双方を達成することを経営の重要課題と考えております。

2020年12月期の配当につきましては、中間配当は株主の皆様への利益還元を継続する観点から1株当たり1円とさせて頂きました。期末配当につきましては、厳しい競争環境を勝ち抜く競争力を確保するために旺盛な技術開発の資金需要があることなどを総合的に考慮し、1株当たり2円50銭とし年間配当は3円50銭とさせて頂きたいと存じます。

2021年12月期の配当に関しましては、増収増益を確保できる見通しであることや、配当性向の更なる向上を図る観点から、2019年12月期と同水準の年間配当7円を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

経年比較の容易性や国内同業種との比較可能性を担保する観点から、会計基準は日本基準を採用しておりますが、親会社がIFRSを採用していることなどを総合的に勘案し、会計基準をIFRSに移行することを、引き続き検討しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当連結会計年度 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,196	5,426
受取手形及び売掛金	20,118	21,050
電子記録債権	1,541	1,838
商品及び製品	4,878	4,308
仕掛品	647	625
原材料及び貯蔵品	3,795	3,316
短期貸付金	5,888	9,145
その他	1,277	1,267
貸倒引当金	△89	△44
流動資産合計	46,255	46,934
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	29,312	30,118
減価償却累計額	△16,960	△17,628
建物及び構築物 (純額)	12,351	12,489
機械装置及び運搬具	40,779	44,181
減価償却累計額	△26,956	△28,052
機械装置及び運搬具 (純額)	13,823	16,128
工具、器具及び備品	17,080	19,838
減価償却累計額	△12,031	△14,112
工具、器具及び備品 (純額)	5,049	5,725
土地	3,398	3,241
リース資産	10,362	5,013
減価償却累計額	△8,811	△4,035
リース資産 (純額)	1,551	978
建設仮勘定	6,587	7,419
有形固定資産合計	42,760	45,983
無形固定資産		
のれん	135	—
その他	1,151	1,080
無形固定資産合計	1,287	1,080
投資その他の資産		
投資有価証券	5,042	268
長期貸付金	909	833
関係会社出資金	7,510	8,150
退職給付に係る資産	1,021	19
繰延税金資産	3,956	5,283
その他	1,077	1,087
貸倒引当金	△8	△7
投資その他の資産合計	19,510	15,636
固定資産合計	63,558	62,700
資産合計	109,813	109,634

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当連結会計年度 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	29,549	29,839
短期借入金	1,012	—
1年内返済予定の長期借入金	1,129	2,045
リース債務	730	227
未払法人税等	1,080	2,087
未払費用	3,525	3,289
未払金	1,578	3,541
賞与引当金	1,004	1,087
役員賞与引当金	25	33
製品保証引当金	1,739	1,612
設備関係支払手形	469	178
その他	3,975	4,836
流動負債合計	45,821	48,779
固定負債		
長期借入金	8,974	6,928
リース債務	490	720
繰延税金負債	182	169
退職給付に係る負債	8,718	8,244
資産除去債務	170	158
環境対策引当金	8	—
その他	40	87
固定負債合計	18,586	16,310
負債合計	64,407	65,090
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,986	8,986
資本剰余金	2,505	2,505
利益剰余金	34,267	36,692
自己株式	△45	△45
株主資本合計	45,713	48,138
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,899	70
為替換算調整勘定	△2,905	△3,052
退職給付に係る調整累計額	△467	△1,597
その他の包括利益累計額合計	△1,473	△4,578
非支配株主持分	1,165	984
純資産合計	45,405	44,544
負債純資産合計	109,813	109,634

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
売上高	133,053	113,859
売上原価	105,482	91,611
売上総利益	27,570	22,247
販売費及び一般管理費	21,130	19,779
営業利益	6,440	2,468
営業外収益		
受取利息	89	95
受取配当金	239	176
投資有価証券売却益	173	2,090
持分法による投資利益	825	445
その他	122	54
営業外収益合計	1,450	2,862
営業外費用		
支払利息	160	83
支払手数料	22	3
為替差損	250	125
その他	93	69
営業外費用合計	527	281
経常利益	7,363	5,048
特別利益		
固定資産処分益	0	6
特別利益合計	0	6
特別損失		
固定資産処分損	240	101
事業構造改善費用	—	600
減損損失	—	347
特別損失合計	240	1,050
税金等調整前当期純利益	7,123	4,005
法人税、住民税及び事業税	2,109	1,398
法人税等調整額	△172	△87
法人税等合計	1,937	1,311
当期純利益	5,185	2,693
非支配株主に帰属する当期純利益	△29	△163
親会社株主に帰属する当期純利益	5,214	2,857

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
当期純利益	5,185	2,693
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	476	△1,829
為替換算調整勘定	85	△250
退職給付に係る調整額	580	△1,130
持分法適用会社に対する持分相当額	△175	87
その他の包括利益合計	966	△3,122
包括利益	6,152	△428
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	6,183	△248
非支配株主に係る包括利益	△30	△180

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	8,972	2,491	29,821	△45	41,239
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益			5,214		5,214
新株の発行	14	14			28
剰余金の配当			△768		△768
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	14	14	4,446	△0	4,474
当期末残高	8,986	2,505	34,267	△45	45,713

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付 に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	1,423	△2,817	△1,047	△2,441	1,199	39,997
当期変動額						
親会社株主に帰属する当期純利益						5,214
新株の発行						28
剰余金の配当						△768
自己株式の取得						△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	476	△88	580	968	△34	933
当期変動額合計	476	△88	580	968	△34	5,408
当期末残高	1,899	△2,905	△467	△1,473	1,165	45,405

当連結会計年度(自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	8,986	2,505	34,267	△45	45,713
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益			2,857		2,857
新株の発行					—
剰余金の配当			△432		△432
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	2,424	△0	2,424
当期末残高	8,986	2,505	36,692	△45	48,138

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付 に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	1,899	△2,905	△467	△1,473	1,165	45,405
当期変動額						
親会社株主に帰属する当期純利益						2,857
新株の発行						—
剰余金の配当						△432
自己株式の取得						△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△1,829	△146	△1,130	△3,105	△180	△3,285
当期変動額合計	△1,829	△146	△1,130	△3,105	△180	△861
当期末残高	70	△3,052	△1,597	△4,578	984	44,544

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	7,123	4,005
減価償却費	8,104	7,433
のれん償却額	184	137
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	13	△45
賞与引当金の増減額 (△は減少)	81	84
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	184	△124
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	206	△541
受取利息及び受取配当金	△328	△272
支払利息	160	83
減損損失	—	347
持分法による投資損益 (△は益)	△825	△445
投資有価証券売却損益 (△は益)	△173	△2,090
固定資産処分損益 (△は益)	240	95
売上債権の増減額 (△は増加)	3,106	△1,288
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,741	830
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△0	180
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,603	487
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△692	3,135
その他	△562	△385
小計	18,686	11,626
利息及び配当金の受取額	315	336
利息の支払額	△165	△102
法人税等の支払額	△2,714	△640
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,122	11,219
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△11,841	△11,800
有形固定資産の売却による収入	24	8
無形固定資産の取得による支出	△298	△142
投資有価証券の取得による支出	△19	△18
投資有価証券の売却による収入	—	4,248
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	△5,888	△3,239
その他	1,298	△11
投資活動によるキャッシュ・フロー	△16,724	△10,955

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,087	△960
長期借入れによる収入	5,500	—
長期借入金の返済による支出	△1,329	△1,129
配当金の支払額	△768	△432
非支配株主への配当金の支払額	△3	—
リース債務の返済による支出	△3,719	△394
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,409	△2,917
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6	△117
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,018	△2,769
現金及び現金同等物の期首残高	10,215	8,196
現金及び現金同等物の期末残高	8,196	5,426

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは当社の構成単位のうち、分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は事業単位を基礎として製品の種類、特性、用途等に基づき、「自動車部品事業」及び「用品事業」を報告セグメントとしております。

「自動車部品事業」は、主に自動車メーカー向けに自動車用照明製品及びミラー製品等を製造・販売しており、「用品事業」は、アフターマーケット向けを中心に自動車用バルブやワイパー等を製造・販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	計
	自動車部品	用品	計		
売上高					
外部顧客に対する売上高	124,399	7,488	131,888	1,165	133,053
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3	1,199	1,202	544	1,747
計	124,403	8,687	133,090	1,710	134,800
セグメント利益又は損失(△)	6,305	209	6,515	△82	6,432
セグメント資産	102,786	5,676	108,462	2,146	110,609
その他の項目					
減価償却費	7,976	102	8,079	33	8,112
持分法適用会社への 投資額	7,400	—	7,400	—	7,400
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	11,759	131	11,890	37	11,928

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車用電球製造販売事業を含んでおります。

2. 有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、建設仮勘定の増加額は含めておりません。

当連結会計年度(自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	計
	自動車部品	用品	計		
売上高					
外部顧客に対する売上高	106,085	6,900	112,985	873	113,859
セグメント間の内部 売上高又は振替高	44	1,156	1,201	943	2,144
計	106,130	8,056	114,187	1,817	116,004
セグメント利益又は損失(△)	2,282	230	2,513	△71	2,441
セグメント資産	103,680	5,550	109,230	1,708	110,938
その他の項目					
減価償却費	7,328	83	7,412	28	7,440
持分法適用会社への 投資額	8,041	—	8,041	—	8,041
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	11,195	143	11,338	2	11,341

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車用電球製造販売事業を含んでおります。

2. 有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、建設仮勘定の増加額は含めておりません。

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	133,090	114,187
「その他」の区分の売上高	1,710	1,817
セグメント間取引消去	△1,747	△2,144
連結財務諸表の売上高	133,053	113,859

(単位:百万円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	6,515	2,513
「その他」の区分の利益又は損失(△)	△82	△71
セグメント間取引消去	7	26
連結財務諸表の営業利益	6,440	2,468

(単位:百万円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	108,462	109,230
「その他」の区分の資産	2,146	1,708
その他の調整額	△795	△1,303
連結財務諸表の資産合計	109,813	109,634

(単位：百万円)

その他の項目	報告セグメント計		その他		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度
減価償却費	8,079	7,412	33	28	△7	△6	8,104	7,433
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	11,890	11,338	37	2	—	—	11,928	11,341

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
1株当たり純資産額	460円23銭	453円15銭
1株当たり当期純利益金額	54円26銭	29円73銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下の通りであります。

	前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	5,214	2,857
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	5,214	2,857
期中平均株式数(株)	96,112,044	96,127,269

(重要な後発事象)

該当事項はありません。